第４０回尼崎市動物愛護管理推進協議会議事要旨

１　日　時

令和６年７月２９日（月）　１４時００分～１５時３０分

２　場　所

兵庫県動物愛護センター　愛護館　多目的ホール

３　出席者

（１）　委　員９名（敬称略）

植村興、會田道彦、安部壮剛、三田一三、瀬戸口敬幸、藤木芳博、寺岡由江、濱屋裕美、林英代

（２）　事務局６名

安川保健局長、豊島保健部長、松田生活衛生課長、林所長、北山係長、谷技術員

４　議事概要

（１）　動物愛護啓発バスラッピング広告のデザイン（案）及び標語の選定について

（２）　動物愛護推進事業に係る動物愛護基金活用案（たたき台）について

＜意見等＞

【動物愛護啓発バスラッピング広告のデザイン（案）及び標語の選定について】

・山吹色のB案の方が目立つと思う。（委員）

・山吹色のB案はどうしても秋のイメージ、通年通してのバスの運行を考えれば、パステルカラーのA案の方が春夏秋冬いつでもいける感じがする。（委員）

・パステルカラーのA案について、ピンク色は季節感でいうと桜となるが、「さくら耳」とかかっているという点で良いのでは。（委員）

・山吹色のB案はちょっと暗い。（委員）

・文字や写真の位置はデザイン案の通りで大丈夫。（委員）

・QRコードの掲載は広告代理店より交通安全上の問題で載せることができない。（事務局）

・「地域ねこ」という言葉が誤解を招かないか。（委員）

・地域ねこと言うと、「何で地域で面倒を見ないといけないのか。」、「餌をやっている人に責任を取らせるべき。」という理由で怒る人が多い。（委員）

・これを機に地域ねこの定義をお知らせする機会とさせていただく。（事務局）
・TNR の助成金が出るということを知らない市民がいるので、バスの上部に掲載する言葉は「助成金があることをご存じですか」というのもいいのではないか。（委員）
・「猫たちと街のためにあなたも参加しませんか、TNR」という文言は、猫たちと街のために、野良猫に餌をあげてもいいと誤って捉える人が出てくるのではないか。（委員）
・「猫と環境にいいことたくさん」というのは勘違いされそう。（委員）
・TNR の文字が大きく出ているのは小さな子どもにとって良いと思う。（会長）
・バスに尼崎市動物愛護センターという文字は入らないのか。（委員）
・世間にはアンチ TNR の考えを持っている人もいるということを知っておかなければならない。（会長）

【動物愛護推進事業に係る動物愛護基金活用案（たたき台）について】
・二重取り問題というのであれば、TNR の助成金についても、どこの地域か分からない猫や飼い猫に使われているのではないかという問題がある。（委員）
・二重取りという言い方は少し違うと思う。譲渡会では新たな飼い主から一律で費用をもらっているので、１頭譲渡する毎に利益が出る恐れがあることを懸念している。（委員）
・知り合いが譲渡会でペットを購入出来るくらいお金を取られたと聞いた。（委員）
・どうしても飼い主が飼育放棄した猫を引き取った後に必要経費が発生する。その経費について市から助成をいただけないかというような要望があった。一方、保護した猫の譲渡先の方から、幾ばくかのお金をもらうというような仕組みとなっているので、目的が重複した形でお金をもらう可能性がある。その重複のことを二重取りと分かりやすく表現した。（事務局）
・上流の蛇口を閉めるという TNR よりも、ボランティアの関心が出口対策である保護にシフトしてしまわないかという懸念がある。（委員）
・保護猫健康管理支援助成金自体が本当に必要なものなのか。現状の団体譲渡の健康管理支援制度と変わりがないのではないか。（委員）
・保護猫健康管理支援助成金の目的や意義が分からない。（委員）
・自身でも里親募集をしており、大変さや喜びを知っている。自己負担の部分もあるが、自身の限界を知っているので、自分のできる範囲でやっている。お金の問題ではない。（委員）
・現在の案では最終的な引き取り先を飼い主が、行政かボランティアか選べるようになっているが、やはりセンターは保健所なので、間違いなくボランティアの方に来ると思う。（委員）

・マイクロチップ助成金制度について、野良猫を保護・譲渡する際、マイクロチップ情報の登録者は野良猫保護主となるのか。また、耳カットは必要なのか。（委員）
・現在の想定では登録者は保護をし、助成金の申請を行う人となり、その際、耳カットは必要ないと考えている。（事務局）
・防災について、犬猫を同じ場所に集めるより、犬対応の避難所、猫対応の避難所のように初めから分けておくのはどうか。犬と猫の特性が違いすぎるので、同じ場所で飼育するのはかなり難しいと思う。（委員）
・全避難所にケージを置くのは賛成。避難所のリーダーへの啓発にもなる。（委員）
・猫トイレの備蓄も必要。（委員）
・マイクロチップの助成について、他の自治体の状況を把握しておく必要がある。（会長）

以　上